

10月度 <b>例会</b> 個人 山行報告書		報告者	沼崎 祥久	参加 メンバー	総括:金子 その他 計 83 名 (内ゲスト 63 名)
		報告日	10/04		
山 域	鈴鹿山脈	山行日	2010 年 10 月 2 日 (土)		
山 名	御在所岳				
山行目的	社内登山大会	コースタイム (天候: 天気図記号)			

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙:集会  
担当者

ルート図 (地図を見て正確に)

2.5 万分の 1 地図 :

10/2 晴れ時々曇り
7:15 本社正門発
8:00-8:15 御在所 SA にて休憩
8:50 希望荘着
9:15 希望荘発 (以降 4 グループのコースタイム)
10:07-10:17 中道登山口にて一本
10:41-10:48 一本
11:05 おばれ岩前通過
11:38-11:48 一本
12:40-12:50 一本
13:10 朝陽台広場着
14:08 朝陽台広場発
14:33 国見峠通過
15:09-15:19 一本
15:55-16:05 藤内小屋前にて一本
16:40 裏道登山口
17:10 希望荘着 入浴
18:20 希望荘発
19:40 本社正門前着

〈山行報告〉総勢 83 名の参加者が会社バス 2 台に分乗し、本社正門から出発。(これ以降はバス 1 号車及び 4 グループ主体の報告となります。) 高速に入ると総括の金子さんの挨拶に続き岸上さんからの 4 つのグループの CL, SL の紹介と本日のスケジュール説明が行われ、途中御在所 SA で休憩を取って御在所岳へと向かう。希望荘に着くと、各自準備を整えグループ毎に集まり CL の指示で自己紹介、準備体操などを終えて歩き始める。鈴鹿スカイラインのアスファルト路を 1 時間ほど歩いて、やっと中道登山口に到着して最初の一本。遅れて出発した 4 グループは登山を始めるといきなり渋滞に巻き込まれ (原因は大人数の社内登山の参加者だが) なかなか進まない。いざ、進むようになり、ゆっくりと歩を進めていくが T さんと I さんが徐々に遅れ、振り返るとまったく視界から消えていた。2 人には CL の金子さんがついてるので安心して他のグループメンバーと共に待つことにした。2 人と金子さんが追いつくと 2 人は元気いっぱい、どうやら辛くて遅れたのではなく、話に夢中だったようだ。(登りのコースタイムは 2 人を待つ時間を入れていません。待ち時間を入れると 15 分以上かけています) 渋滞によるスローペースに加え 2 人の遅れを繰り返し、全グループ中最後に朝陽台広場に到着。すでに豚汁の提供が始まっていたが、一部の参加者は最後に到着した金子さんが担当していたコッヘル待ちであった。温まった豚汁が待っていた参加者に提供されたが、とても美味しくお代わりする人数多数あり (私も)。

大きな岩の所で全 83 名の集合写真を撮り、亀山さんが CL の 1 グループを先頭に準備できたグループから下山を始め、総括の金子さんが全グループの下山を確認した上で我が 4 グループが最後に下山を始めた。途中川を何度か渡り、最後に長いアスファルト路を歩いて希望荘に到着。温泉で汗を流し、再度会社バスに乗って帰路につく。途中、私と岸上さんによるレクを行い、全員無事に本社に到着した。皆さんお疲れ様でした。



確認  
(リーダー)  
**金**  
10/10/07  
**子**  
作成  
(報告者)  
**沼**  
10/10/04  
**崎**

〈リーダー所見〉  
過去最高の参加者となったが、各担当が慌てることなくきっちり仕事をこなし成功裏に終わることができた。感謝。今後、部の活性化に繋がることを期待したい。また、課題 (渋滞発生など) については次回の社内登山に活かしていく。